

大連事務所だより

公益社団法人宮城県国際経済振興協会大連事務所
中国 116001 遼寧省大連市中山区人民路15号
国際金融大廈13層C

No.30 平成29年3月24日発行

目次

主な事業内容	1
事務所トピックス	1
編集後記	4

問合せ先

TEL: 86-411-8250-7426
FAX: 86-411-8250-7439
E-mail: gb-dalian@miyagi-dalian.com
URL: http://miyagi-dalian.com

主な事業内容

12月から2月までに実施した主な事業を紹介します。

＝ 12月 ＝

- 「天皇誕生日祝賀レセプション」参加(大連)
- 「Visit Japan Salon」参加(上海)
- 「水耕栽培施設開業式典」出席(大連)
- 大連理工大学外国語学院での講演開催(大連)

＝ 2月 ＝

- 「上海ビジネス交流会」参加(上海)
- 「JNTO 北京観光セミナー、商談会」参加(北京)
- 大連の旅行社、旅行商品説明会参加(錦州ほか)
- 「地域の魅力海外発信事業」参加(北京)

また、上記のほか次のような活動を行いました。

- 中国現地企業や関係機関等の訪問及び来所対応
- 県内企業・団体・機関のニーズ調査や情報収集提供
- 観光誘客のための資料翻訳や内容確認等の支援

事務所トピックス

事業内容からトピックを8つ紹介します。

「天皇誕生日祝賀レセプション」参加

12月7日、大連市内のホテルで開催された「天皇誕生日祝賀レセプション」に参加しました。

8の自治体ブースで観光PRや日本酒の試飲が行われた会場には、大連市政府関係者ほか大連駐在の日本人など約500人の招待客で賑わいました。

本県PRブースでは、宮城の観光物産紹介のほか、旅順口区で無農薬水耕栽培を事業化した宮城県企業の現地合弁企業「久保潤科技発展大連有限公司」によるサンプル野菜(レタス)の展示試食を行いました。レタスは食べやすいように小分けにされ、担当が無農

薬水耕栽培の仕組みを丁寧に説明していました。



宮城県PRブース

中国で安全安心な食品への関心が高まる中、当所でも無農薬野菜の周知を図るための支援をしていきたいと考えています。

「Visit Japan Salon」参加

12月10日(土)、11日(日)、上海世貿展館7階で開催された「Visit Japan Salon」に参加しました。



旅行社の方と宮城県をPR

このイベントは、7の自治体ほか、鉄道会社や食品メーカーなど、20の団体がPRブースを出展し訪日旅行を紹介するもので、会場には、訪日旅行に関心が高い

上海市民の応募者約 400 人が来場しました。

会場では、冬、春の誘客に向け樹氷や桜の映像を流しながらステージで宮城を紹介したほか、本県 PR ブースでは、宮城への旅行商品を造成いただいた上海の旅行社の方と、同旅行商品ほか樹氷や桜など冬、春の観光地を中心に宮城を紹介しました。

来場者からは数次ビザに関する問合せが最も多かったほか、牡蠣小屋を日程に入れて宮城に旅行を計画しているとして、二次交通アクセスを聞かれる来場者もいました。そして最後に行われたお楽しみ抽選会では、玉虫塗手鏡が当選した女性が大変喜んでいました。

仙台空港と直行便が就航する上海では、引き続きPRに努めていきたいと考えています。

「水耕栽培施設開業式典」出席

12 月 11 日(日)、宮城県企業の現地合弁企業「久保潤科技発展大連有限公司」による無農薬水耕栽培事業の開業式典が旅順口区にある大連外国語大学内で開催されました。

式典には、日本側から大連領事事務所平川所長をはじめ取引先や金融機関が、中国側からは旅順口区共産党委員会衣書記をはじめ地方政府関係者など、約 70 名が出席しました。



式典での調印の様子

同有限公司王総経理からは、「1 年間のテスト栽培を経て、農薬や化学肥料を使わずに汚染が無い、安全安心な野菜を消費者に届けることができる」との挨拶があった後、同有限公司と旅順口区政府との間で、同事業の協力に関する合意書の調印式が行われました。

合意書には、旅順口区政府が新たに開発中の農業関連事業用地への水耕栽培事業展開に係る支援が盛り込まれ、現地政府の同事業に対する期待の大きさを表していました。

大連理工大学外国語学院での講演開催

12 月 14 日(水)、大連理工大学外国語学院で、日本語学科及び日本語強化班の学生約 40 名に対して、宮城県の復興状況や多文化共生取組の説明ほか、県内の観光地を紹介しました。

多文化共生の取組の説明では、多言語による外国人相談センターの開設などの宮城県の取組を紹介し、外国人留学生にとって学びやすい環境整備に努めていることを PR しました。

現在、訪日ビザの発給要件が緩和され、同大学を含む中国教育部直属の 75 の大学では、同大学生が在学証明書のみで訪日できるようになったことから、一人でも多くの学生に魯迅先生が学んだ宮城を訪問して欲しいと考えています。

「上海ビジネス交流会」参加

2 月 17 日(金)、上海花園飯店で開催された、七十七銀行、京都銀行、静岡銀行、千葉銀行、八十二銀行の地方銀行 5 行が主催する、上海ビジネス交流会に参加しました。

この交流会は、顧客間の情報交換とビジネスマッチングを目的としたもので、当所では、セミナー、個別商談会等の運営支援を行いました。

セミナーでは、「中国経済の展望と人民元市場の見方について」をテーマとした講演を聴講し、引き続き行われた個別商談会では、中国でビジネスを展開する企業間で盛んな交流が行われました。

当交流会は、今回で 8 回目の開催となりますが、今年は昨年を 30 社上回る 242 社 351 名が参加し、うち県内企業 14 社が参加しました。

当所では、拠点を置く大連に留まらず、引き続き県内企業の中国でのビジネス支援に務めてまいります。



セミナーの様子

「JNTO 北京観光セミナー、商談会」参加

2月17日(金)～19日(日)、北京で開催されたJNTO 北京主催の観光セミナー、商談会に参加しました。

17日に開催された商談会では、北京市内の旅行社8社と面談し、宮城のランド社やこけし絵付けなどの体験情報のほか、仙台市内のWIFI整備や外国人インフォメーションカウンター設置の最新情報を提供しました。約100名の社員旅行で訪日を計画しているという旅行社には具体的な視察先を紹介し、3月末に下見で宮城にお出でいただくことになりました。



宮城 PR コーナー

18日(土)、19日(日)は、北京市内にあるショッピングセンターを会場にした観光セミナーに参加しました。同センターは地下鉄駅と直結しているほか、近くに北京大学ほか複数の大学が立地していることもあり、特に若い女性の来場者が目立ちました。

本県 PR コーナーには、日本に留学中、東北や宮城を訪問したという若いカップルが声をかけてくれたり、春に訪日旅行したいので宮城の桜の情報を教えて欲しいという熟年層の女性から話しかけられたりして、一人一人と対話しながら宮城を PR できました。



浴衣体験コーナー

また、セミナー会場内には、日本各地の観光地をバックに記念撮影できるコーナーや浴衣体験コーナーが設けられ、特に浴衣体験では、女性来場者が列をつくる程の人気でした。

大連の旅行社による旅行商品説明会参加

2月23日(木)、24日(金)、大連市内の旅行社が錦州市及び盤錦市で開催した、旅行社対象の旅行商品説明会に参加して宮城を PR しました。

この旅行社は、旅行内容を企画し各地の旅行社に商品を販売しており、昨年からは東京、宮城を組み合わせた訪日旅行商品を造成いただいています。今回は、来場した錦州市及び盤錦市の旅行社計100社に対して宮城を紹介しました。

紹介に当たっては、魯迅先生と関わりのある仙台や愛ちゃん DVD を上映して、来場者が関心を引く内容としました。今後も、大連に限らず遼寧省内の各地に赴き宮城を PR したいと考えています。



魯迅先生と宮城との関係を紹介

「地域の魅力海外発信事業」参加

2月25日(土)、26日(日)、北京市中心部にあるショッピングセンターで開催された外務省主催の「地域の魅力海外発信事業」に参加しました。

同センターは北京市中心部にあり、週末だったことから、大勢の家族連れや買い物客が会場に足を止めていました。また、伊達の会(北京宮城県人会)の皆さんが現地県人会ネットワークを通じて今回の事業を紹介してくれたことから、多くの北京駐在日本人も来場しました。

会場には、観光、食品、工芸品、日本酒の各コーナーが設けられ、観光コーナーに宮城を紹介する各種パンフレットを配架したほか、工芸品コーナーに「玉虫塗」を展示しました。また、食品コーナーで「仙台牛タン」を紹介する写真をパネル展示しました。



来場者で賑わう会場

一方、ステージでは、仙台宮城を紹介する愛ちゃん DVD の上映と、北京から宮城へのアクセスなどについて紹介しました。

また、現地日系旅行社からは、東北地方に招請した北京の大学生の感想を基に造成した東北宮城への旅行商品を紹介いただきました。

上海経由で仙台便が就航する北京でも引き続き PR に努めていきたいと考えています。



宮城を紹介するステージ

編集後記

中国では、今年の春節が 1 月 28 日で、大晦日に当たる 1 月 27 日から 2 月 2 日までが春節の祝日となりました。

中国では、古くから魔よけなどとして、年越しとなる大晦日の晩から爆竹を盛大に鳴らしたり、花火を打ち上げる習慣があり、春節期間中は街のあちこちでそれらの様子を見ることができます。そして、ピークに達するのは年が明ける時間帯で、街中の人々が爆竹や花火を次から次

へと打ち上げ始める、というのが中国の伝統的なお正月でした。

しかしながら、PM2.5 などの大気汚染が深刻化する中、規制の標的はこの伝統行事にも向けられ、各地で爆竹や花火を規制する動きが年々強まっています。大連でも今年から一部地域での販売が禁止され、その動きは全国的に広がっています。私自身、中国で迎える正月は今年で 3 回目ですが、年々その迫力がなくなっていると感じています。

伝統的な風習が薄れていくのは少しばかり寂しい気はしますが、それ以上に環境汚染の解消を望むところです。(TK)

【みやぎフォトライブラリーから】

【一目千本桜】



残雪の蔵王山を望み、樹齢 100 年の桜並木が続く、日本桜 100 選に選ばれた桜の名所

アクセス:大河原駅、船岡駅から徒歩 5 分